

1 児童生徒の学びをサポートするICT活用

(1) 主体的な学び

こんな実践

かけ算を学んだ児童が一人一台タブレット端末を持ち、身の回りにある九九で求められるものを探します。それをクラスで共有することを通して、身の回りには九九で求められるものが多くあるということに気がついた実践です。

実践学校 E小学校

実践学年 2学年

実践時期 10月下旬

単元・題材名「身のまわりから九九を見つけよう！」

学習指導要領との関連：A 数と計算 (3)

- 児童が、一人一台タブレット端末を片手に、学校内にある九九で求められるものを探しました。

児童が昇降口に行き、並んでいる窓枠を撮影しました。児童同士で「これは、九九で求められるよね?」「そうですね。たてが4個でそれが3列だから・・・」と相談しながら撮影し、「これは、まだだれも知らないやつだよ」とみんなに発表するまで、自分のものとして大切にタブレット端末に記録している姿がありました。

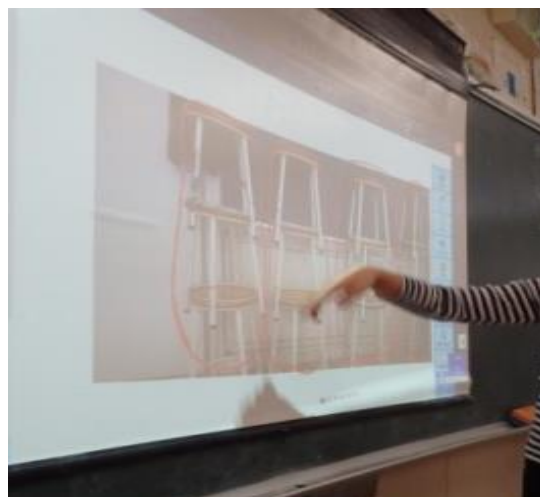


- 教室に戻り、ペアで互いの画像を見せ合い、どれが九九に見えるか問題を出し、九九を言っていました。

そして、学習支援ソフトの一覧機能を利用して、全体で友達の見つけてきた九九の画像を見て、説明を聞きました。

全員で一覧画像を見ていくと、「えっ、これはどこが九九で求められるの?」と授業が盛り上がっていきました。

そこで、その画像を撮影した児童に説



明してもらいます。その説明を聞いたことで「なるほどね」「おお！わかった！」といった感想が聞こえてきました。

- 例えば、右の写真の子が撮影したものは、周りの子から「えっ、どこが九九のできるの？」と言われていました。スクリーンの前に出てきて「この葉っぱとこの葉っぱがセットで、それが5個あるから」と説明すると「うわー！そっかあ」「すごい！」と周りの子もその九九の仕組みに納得し、その子の考えに称賛の声があがり、本人もうれしそうにしていました。



- 振り返りの場面で、「みんなの九九が見られてよかった」「いろんな九九が見つられてよかった」「学校だけで、こんなに九九で求められるものがあることを知れてよかった」という感想が聞かれました。
- 校内で九九を探したり、スクリーンに映し出された、クラスみんなが見つけた九九を見たり、説明を聞いたりしたことで、身の回りには九九で求められるものがたくさんあるということに、より気が付くことができました。



ここがポイント！

- ・タブレット端末を用いて九九で求められるものを撮影することで、後で友達との共有が容易になり、友達が発見した多くの考えに触れることができます。
- ・学習支援ソフトの一覧機能を用いることで、クラスの友達の考えを一斉に見ることができ、考えの違いや新たな考えに出会うきっかけになりました。
- ・友達に自分の発見した九九を見せてもらうことで、自分の考えを友達に価値づけてもらうことができます。

まとめ

- ・この授業の後に、校内で「あれも、かけ算だね。□×△だよ」と日常生活の中にある算数を発見しようとする姿が見られるようになりました。
- ・「身の回りには、同じ個数のものの集まりが多くある」「たしていくのではなく、かけ算なら簡単にできる」と日常生活の中で数学的な見方を働かすことで、かけ算のよさに気が付くことができました。